

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3206476号  
(U3206476)

(45) 発行日 平成28年9月23日(2016.9.23)

(24) 登録日 平成28年8月31日(2016.8.31)

(51) Int.Cl.		F 1
<b>B 6 5 D 41/26</b>	<b>(2006.01)</b>	B 6 5 D 41/26
<b>B 6 5 D 25/48</b>	<b>(2006.01)</b>	B 6 5 D 25/48

評価書の請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号 実願2016-600020 (U2016-600020)  
 (86) (22) 出願日 平成26年4月16日(2014.4.16)  
 (86) 国際出願番号 PCT/ES2014/070323  
 (87) 国際公開番号 W02014/170525  
 (87) 国際公開日 平成26年10月23日(2014.10.23)  
 (31) 優先権主張番号 U201330464  
 (32) 優先日 平成25年4月17日(2013.4.17)  
 (33) 優先権主張国 スペイン(ES)

(73) 実用新案権者 515286508  
 ニュエヴァス エストラテジアス ダ マー  
 カド, エス. エル.  
 NUEVAS ESTRATEGIAS  
 DE MERCADO, S. L.  
 スペイン, E-39011 サンタンデー  
 ル, ネーブ 60, イスラ ダ オレオ  
 Isla de Oleo, nave 6  
 0, E-39011 Santander  
 (ES)  
 (74) 代理人 100142804  
 弁理士 大上 寛  
 (72) 考案者 オスカー ディアズ メイゾン  
 スペイン, E-39011 サンタンデー  
 ル, ネーブ 60, イスラ ダ オレオ

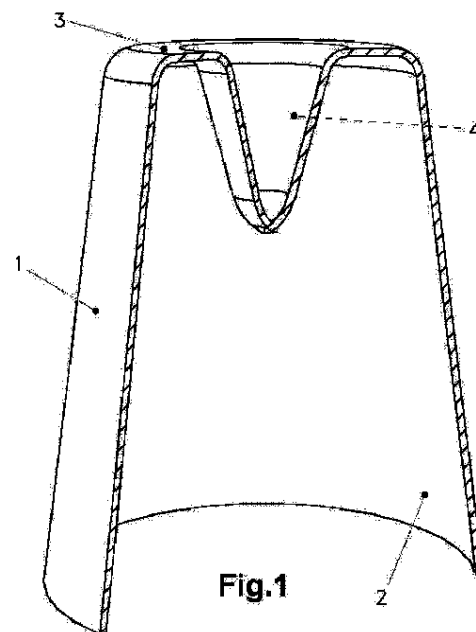
(54) 【考案の名称】 ボトル用衛生スパウト

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 ボトルの口部が洗浄又は消毒される一方、飲用される飲料物の特性が維持され、グラスとしての使用が可能になる、ボトル用衛生スパウトを提供する。

【解決手段】 スパウトは、中心部に窪み部4を有する基部3に剛結合された本体1からなる単一部の形態であり、窪み部は、本体の内部表面2と共に、ボトルの口部上の支持用環を画定する。スパウトは、好ましくは、様々な口部の直径を有するボトルでの使用を可能にし、取り外し可能に様々なスパウトを積み重ねることが可能になるテーパ型構成を有するので、圧着を容易にさせ、かつガス入り、スパークリング状、又は炭酸入りの飲料物の泡立ちを減らせる。消毒用シートをスパウトの内部表面全体に配置してもよく、又は内部表面は、ボトルの口部を洗浄又は消毒するために消毒液で覆われてもよい。平らな外部表面により、広告又は情報用ラベルを外部表面上に配置できる。

【選択図】 図1



**【実用新案登録請求の範囲】****【請求項 1】**

本体（１）の内部表面（２）によって、ボトル（５）の口部上のサポートリング部分を画定する窪み部（４）を前記スパウトの中心部に有する基部（３）に剛接合された前記本体（１）により形成される単一体からなり、その結果、前記口部を浄化又は消毒するためにスパウトを使用することが可能となり、飲用される飲料物の特性を維持し、グラスとしての使用を可能にすることを特徴とする、ボトル用衛生スパウト。

**【請求項 2】**

前記スパウトの前記本体（１）は、好ましくは、様々な口部の直径を有するボトル上でのスパウトの使用を可能にするテーパ型の構成を有することを特徴とする、請求項 1 に記載のボトル用衛生スパウト。

10

**【請求項 3】**

前記窪み部（４）は、様々なスパウトを不動に重ねることを可能にする円錐形状を有し、その結果、圧着が容易になり、かつガス入り、スパークリング状、又は炭酸入りの飲料物の泡立ちを減らすことを特徴とする、請求項 1 及び 2 に記載のボトル用衛生スパウト。

**【請求項 4】**

前記スパウトの前記内部表面（２）は、前記ボトル（５）の前記口部を浄化又は消毒するための消毒用シートを備えることを特徴とする、請求項 1 ～ 3 に記載のボトル用衛生スパウト

**【請求項 5】**

前記内部表面（２）は、含浸又は噴霧によって、人の飲用に適した消毒液で覆われていることを特徴とする、請求項 1 ～ 3 に記載のボトル用衛生スパウト。

20

**【請求項 6】**

前記スパウトの前記本体（１）は、接着、印刷、又はスタンプすることによって、広告又は情報用のラベルの配置が可能になる平らな外部表面を有することを特徴とする、請求項 1 ～ 5 のいずれか一項に記載のボトル用衛生スパウト。

**【考案の詳細な説明】****【技術分野】**

30

**【0001】**

本実用新案は、ボトルの口部上でスパウトを支持するため、スパウトの本体の内部表面でリングを形成する、スパウトの中心部における窪み部を有する基部に剛接合される本体を有する、ボトル用衛生スパウトに関する。

**【背景技術】****【0002】**

現在、従来技術を参照すると、ボトルの内容物を意図せず注いでしまうことを防止し、液体の特性を維持又は保護する役割を担う、コルク、又はプラスチック製ストッパー、並びに金属製キャップ又はカプセルなどの様々な閉止部を利用することが一般的であり既知である。前記閉止部を飲料物を飲用するために取り除くと、錆、コルク、又はカビなどの残存物がボトルの口部に残る場合がある。

40

**【0003】**

サイダーを注いだり、サラダにドレッシングをかけたり、お酒を量ったりするために使用されるスパウトなど、ボトルの内容物を注ぐための多様なスパウトも既知である。

**【0004】**

バーにおいて、飲料物を直接ボトルから飲用するために飲料物が提供される場合、飲用者がボトルの閉止部により残された錆又は残存物の起こり得る残留物を浄化するため、かつ衛生手段として、ボトルの口部に巻かれた紙ナプキンを使用することが一般的である。

**【考案の概要】****【考案が解決しようとする課題】**

50

## 【0005】

この状況に直面し、本実用新案の目的は、ボトルの口部上でスパウトを支持するため、スパウトの本体の内部表面で環を形成する、スパウトの中心部における窪み部を有する基部に剛接合される本体からなるボトル用衛生スパウトを権利主張するものである。

## 【課題を解決するための手段】

## 【0006】

このスパウトを使用することにより、ボトルの口部から、起こり得る残存物を浄化することが可能になり、かつ飲用される飲料物の特性の保護も可能になる。

## 【考案の効果】

## 【0007】

本実用新案は、ボトルの口部から、起こり得る残存物を浄化し、かつ飲用される飲料物の特性を保護することを可能にする、スパウトの本体の内部表面によりボトルの口部上のサポートリング部分を画定する窪み部をその中心に有する基部に対して剛接合された本体から構成されるボトル用衛生スパウトに関して言及する。

## 【0008】

スパウトの本体は、好ましくは、様々な口部の直径を有するボトル内でのスパウトの使用を可能にする、テーパ型構成を採用するが、これは、スパウトが標準的又はより小さい直径を有するボトル上でスパウトの基部の内部により、かつより大きい直径を有するボトルにおいて、スパウトの本体の内壁により支持されるからである。

## 【0009】

更に、スパウトの基部の窪み部は、様々なスパウトを動かないように重ねることを可能にする円錐形状を有するので、他方の内部にスパウトを挿入すると、組み合わせた際の体積が大きく減るので、スパウトの包装及び保管が容易になり、その結果、包装の費用を節約でき、スパウトの保管に要するスペースを最小化することができる。

## 【0010】

また、スパウトの基部の窪み部の円錐形状により圧着圧着が容易になり、ガス入り、スパークリング状、又は炭酸入りの飲料物の泡立ちを減らすので、前記飲料物の特性が維持される。

## 【0011】

加えて、本実用新案のスパウトは、スパウトの内部にシートを挿入することによって、又は含浸若しくは噴霧によって塗布された消毒液を利用することによって、スパウトの内部に、消毒要素を含有できるように構成され、この結果、スパウトの衛生的品質を向上させることができる。

## 【0012】

最後に、平らな壁部を有するスパウトの本体の外部表面に、ラベルを接着、印刷、又はスタンプすることによって配置することが可能であり、その結果、広告又は情報を提供する目的のためにスパウトの使用が可能になるように構成される。

## 【0013】

更に、平坦な基部を有するテーパ型構成のため、スパウトは、「一杯」を試飲するためのグラスとして利用でき、テーブル又は任意の水平面上で支持される。

## 【図面の簡単な説明】

## 【0014】

本実用新案の特性をより良く理解するため、添付図面では、好ましい工業上の実施形態が表され、その実施形態は例示のためだけであり、非限定例に過ぎない。

【図1】本体(1)と、内部表面(2)と、基部(3)と、窪み部(4)と、が示される断面を長手方向に切断したスパウトの斜視図である。

【図2】ボトル用衛生スパウトを構成する要素である本体(1)と、基部(3)と、窪み部(4)と、を可変的な縮尺で観察した場合の同スパウトの上部斜視図である。

【図3】基部(3)の本体(1)と、内部表面(2)と、窪み部(4)と、が観察されるボトル用衛生スパウトの下部斜視図である。

10

20

30

40

50

【図4】スパウトボトル(5)の口部に支持された、本体(1)と、内部表面(2)と、基部(3)と、窪み部(4)と、が示されるスパウトの断面側面図である。

【考案を実施するための形態】

【0015】

図面及び上記参照符号を有する構成要素を参照して、ボトル用衛生スパウトに関する本実用新案の好ましい実施形態の目的が添付の平面図において示される。

【0016】

図1に示されるように提案される装置は、ボトル用衛生スパウトからなる。該スパウトは、基部(3)に剛接合されたテーパ型の構成を有する本体(1)を有する。該基部(3)は、中心部に、円錐形の窪み部(4)を有する。該窪み部(4)は、スパウトの本体(1)の内部表面(2)によって、ボトル(5)の口部上のサポートリング部分を画定する。該ボトル(5)について、口部の残存物を浄化するため、又は口部を消毒するためにスパウトを使用でき、スパウトは、飲料物の特性を保護し、積み重ねが簡単にでき、グラス、及び広告又は情報媒体として利用できる。

10

【0017】

窪み部(4)は、好ましくは、図1及び図4に示されるように円錐形状であり、スパウトが次々と重ねられた場合、スパウトが動かないようにすることを容易に実現する。その結果、スパウトの包装費用及び保管のためのスペースを削減できる。更に、スパウトの基部(3)の窪み部(4)のこの円錐形状により、圧着が容易になり、かつガス入り、スパークリング状、又は炭酸入りの飲料物の泡立ちを減らすので、前記飲料物の特性が維持される。

20

【0018】

スパウトの本体(1)の内部表面(2)上の消毒要素は、好ましくは、消毒用シートを挿入することによって、又は人の飲用に適した消毒薬を含浸若しくは噴霧することによって使用される。

【0019】

スパウトの本体(1)のテーパ型形状及び平坦な基部(3)により、図3に反映されるように、グラスとしてのスパウトの使用が可能になる。

【0020】

図2に反映されるように本体(1)の平らな外部表面により、接着、印刷、又はスタンプによるラベルの配置が容易になり、その結果、広告又は情報を提供する目的のためにスパウトの使用が可能になる。

30

【0021】

更に、スパウトの本体(1)のテーパ型形状により、様々な直径の口部を有するボトルでのスパウトの使用を可能にするが、これは、図4に表されるように、スパウトが標準的又はより小さい直径を有するボトル上で基部(3)の内部により、かつより大きい直径を有するボトル上でスパウトの本体(1)の内部表面(2)上で支持されるからである。

【0022】

この構成により、ボトルの口部から、起こり得る残存物を浄化又はスパウトを消毒し、飲用される飲料物の特性を保護し、スパウトをグラスとして、又は広告若しくは情報媒体として利用し、並びに様々な口部の直径へ適応し、様々なスパウトを不動に積み上げることを可能にするスパウトにより、一般的には、パーで使用される、ボトルの口部に巻かれた既知の紙ナプキンは置換されてもよく、その結果、スパウトの包装費用を削減でき、スパウトの保管が容易になる。

40

【0023】

非限定的に説明された、構成要素の材料、形状、サイズ、及び配置の変形例は、本実用新案の本質を変更するものではない。

【符号の説明】

【0024】

1 本体

50

- 2 内部表面
- 3 基部
- 4 窪み部
- 5 ボトル

【 図 1 】

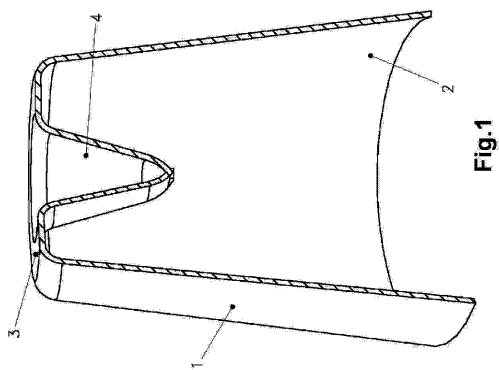


Fig.1

【 図 2 】

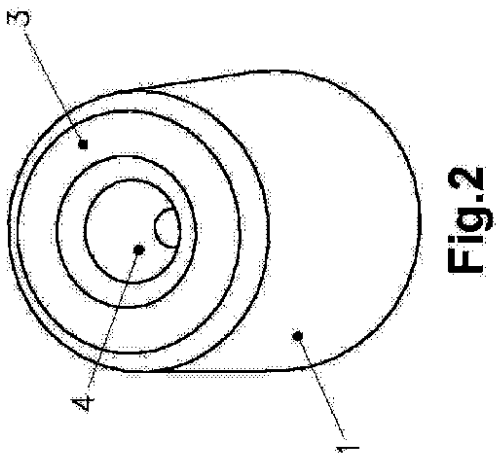


Fig.2

【 図 3 】

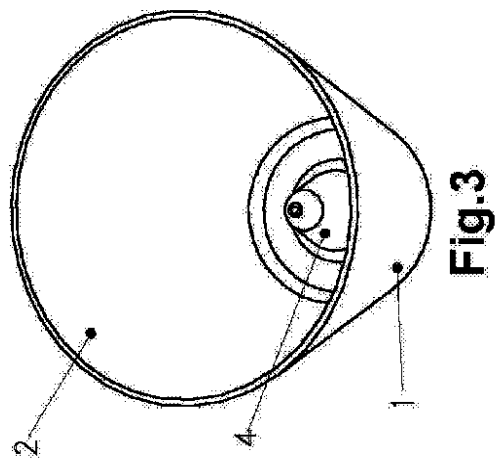


Fig.3

【図 4】

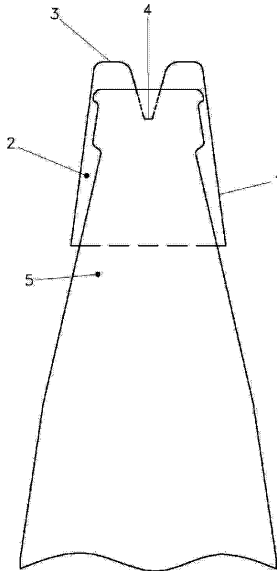


Fig.4

## 【手続補正書】

【提出日】平成28年4月14日(2016.4.14)

## 【手続補正 1】

【補正対象書類名】実用新案登録請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【実用新案登録請求の範囲】

## 【請求項 1】

本体（1）の内部表面（2）によって、ボトル（5）の口部上のサポートリング部分を画定する窪み部（4）をスパウトの中心部に有する基部（3）に剛接合された前記本体（1）により形成される単一体からなり、その結果、前記口部を浄化又は消毒するためにスパウトを使用することが可能となり、飲用される飲料物の特性を維持し、グラスとしての使用を可能にすることを特徴とする、ボトル用衛生スパウト。

## 【請求項 2】

前記スパウトの前記本体（1）は、様々な口部の直径を有するボトル上でのスパウトの使用を可能にするテーパ型構成を有することを特徴とする、請求項 1 に記載のボトル用衛生スパウト。

## 【請求項 3】

前記窪み部（4）は、様々なスパウトを不動に重ねることを可能にする円錐形状を有し、その結果、圧着が容易になり、かつガス入り、スパークリング状、又は炭酸入りの飲料物の泡立ちを減らすことを特徴とする、請求項 1 及び 2 に記載のボトル用衛生スパウト。

## 【請求項 4】

前記スパウトの前記内部表面（2）は、前記ボトル（5）の前記口部を浄化又は消毒するための消毒用シートを備えることを特徴とする、請求項 1 ～ 3 に記載のボトル用衛生ス

## パウト

### 【請求項 5】

前記内部表面(2)は、含浸又は噴霧によって、人の飲用に適した消毒液で覆われていることを特徴とする、請求項1～3に記載のボトル用衛生スパウト。

### 【請求項 6】

前記スパウトの前記本体(1)は、接着、印刷、又はスタンプすることによって、広告又は情報用のラベルの配置が可能になる平らな外部表面を有することを特徴とする、請求項1～5のいずれか一項に記載のボトル用衛生スパウト。